

富津市学校給食運営委員会議会議録

1	会議の名称	平成 28 年度第 1 回富津市学校給食運営委員会議
2	開催日時	平成 28 年 7 月 6 日（水） 午前 10 時 05 分～11 時 00 分
3	開催場所	富津市役所本庁 2 階 第 2 委員会室
4	審議等事項	(1) 委員長及び副委員長の選出について (2) 学校給食費の滞納状況及び対応について (3) 学校給食用食材の放射性物質検査について (4) 富津市学校給食施設整備の指針について (5) その他
5	出席者名	(委員) 平野順子、牧田正彦、千倉淳子、田中計、 和田俊昭、川名賢、石井聡、芥子剛尚、高橋光二、 金瀬陽子 (事務局) 岡根教育長、能城教育部長、鶴岡教育総 務課長、吉原給食係長、立石主査、桑田主任主事、 川名非常勤職員、中島非常勤職員
6	公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	富津市情報公開条例第 23 条第 号に該当 (理由)
8	傍聴人数	1 人（定員 5 人）
9	所管課	教育部 教育総務課 給食係 電話 0439（80）1343
10	議会議録（発言の内容）	別紙のとおり

平成 28 年度第 1 回富津市学校給食運営委員会議 会議録

発 言 者	発 言 内 容
吉原係長	<p>平成 28 年度第 1 回富津市学校給食運営委員会を開会する。 本日は、委員 10 名全員出席なので、富津市学校給食調理場管理運営規則第 11 条第 2 項の規定により会議が成立する。 また、本会議の内容については、富津市情報公開条例第 23 条の規定により公開となる。</p>
岡根教育長	<p style="text-align: center;">【教育長挨拶】</p>
吉原係長	<p>会議次第 3 「委員・事務局紹介」に移る。 本日は、新委員での第 1 回目の委員会となるため、全委員に自己紹介をお願いします。</p>
全委員	<p style="text-align: center;">【自己紹介】</p>
吉原係長	<p>事務局は、席次表により確認をお願いします。 会議次第 4 「議題」を次第に沿って進める。 議題（1）「委員長及び副委員長の選出について」事務局より説明する。</p>
鶴岡教育総務課長	<p>本件は、前委員の任期が平成 28 年 6 月 30 日に満了となるため、新たに委員長及び副委員長の選出をお願いするものである。 富津市学校給食調理場管理運営規則第 10 条第 1 項に「委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。」と規定されているが、初めて会うという方々もいると思うので、選出と言われても難しいと思われる。 事務局から提案させてもらいたいがかか。 <p style="text-align: center;">（「意義なし」の声あり）</p> </p>
鶴岡教育総務課長	<p>今までの慣例としては、委員長は学識経験者、副委員長は校長代表から選出されていた。学識経験者の平野委員は、前任の委員長であり、「富津市学校給食施設整備の指針」の詳細も熟知していることから、引き続き委員長を平野委員に、副委員長を校長代表の牧田委員をお願いしたいがかか。 <p style="text-align: center;">（「意義なし」の声あり）</p> </p>
鶴岡教育総務課長	<p>委員長を平野委員に、副委員長を牧田委員に決定する。 一言ずつ就任の挨拶をお願いしたい。</p>

<p>平野委員長 牧田副委員長</p>	<p style="text-align: center;">【平野委員長・牧田副委員長挨拶】</p>
<p>吉原係長</p>	<p>富津市学校給食調理場管理運営規則第 11 条第 1 項の規定により委員長が議長となるため、会議の進行をお願いする。</p>
<p>平野委員長</p>	<p>規則に基づき議長を務める。 本日の会議録署名人は、千倉淳子委員をお願いする。 議題（２）・（３）を連続して説明するので、了承願いたい。 （２）「学校給食費の滞納状況及び対応について」事務局の説明を求める。</p>
<p>吉原係長</p>	<p>学校給食費の滞納状況について説明する。 資料 4 「平成 27 年度給食費（現年分）」の収納状況を説明する。 調定額 175,758,205 円 収入額 175,245,700 円 未納額 512,505 円 収納率 99.71% 前年度比 0.02 ポイント収納率の減 資料 5 「平成 26 年度給食費（現年分）」の収納状況を説明する。 調定額 182,161,421 円 収入額 181,677,394 円 未納額 484,027 円 収納率 99.73% 資料 6 「平成 27 年度給食費（過年分）」を説明する。 調定額 928,661 円 収入額 436,080 円 不納欠損額 106,728 円 未納額 385,853 円 収納率 46.96% 資料 7 「平成 28 年度への過年度分滞納繰越額内訳」を説明する。 滞納額合計 898,358 円 資料 8 「未納となっている給食費の徴収内容別一覧」を説明する。 児童手当からの特別徴収 現年度分 470,412 円 過年度分 284,480 円 臨戸徴収（過年度分）42,000 円 学校徴収（過年度分）109,600 円 給食係では、富津市債権管理条例に基づき、毎月督促状を発送している。督促後期間を経過しても納入されないときは、強制執行を行わなければならないと規定されているので、支払督促の申立を平成 24 年度から実施している。24 年度は、保護者 3 件、児童生徒 4 件、申立額 210,900 円の申立を行った。</p>

平野委員長	<p>平成 25 年度、26 年度は、納付誓約や児童手当からの特別徴収に係る申立書の提出等の対応を図った結果、申立対象者は 0 人であった。</p> <p>平成 27 年度は、再三の督促にも係わらず納入の意思を示さない高額未納者が数名いるので、学校と協議し、申立手続きの検討を行っていく。</p> <p>議題（3）「学校給食用食材の放射性物質検査について」事務局の説明を求める。</p>
吉原係長	<p>資料 9 「学校給食用食材放射性物質検査結果」を説明する。</p> <p>千葉県教育委員会が実施する学校給食用食材放射性物質検査事業により検査を実施しており、検査場所は、木更津市の南房総教育事務所で検査を行っている。</p> <p>富津市は、1 か月当たり 6 検体の検査を実施している。</p> <p>平成 24 年 5 月 8 日の試験検査から、平成 28 年 6 月 8 日までに延べ 284 検体の検査を実施し、全ての食材で放射性セシウムは不検出であった。</p> <p>市ホームページに同一の資料を掲載している。</p>
平野委員長	<p>議題（2）・（3）についての質問等があればお願いします。</p>
千倉委員	<p>給食費はいくらか。</p>
吉原係長	<p>小学校児童及び小学校に勤務する職員は、月額 4,600 円、日額 265 円であり、中学校生徒及び中学校、共同調理場に勤務する職員は、月額 5,700 円、日額 328 円である。「富津市学校給食費徴収規則」に定められている。</p>
石井委員	<p>準要保護で給食費を免除されている者がいると思うが、割合はどのくらいか。</p>
吉原係長	<p>本日資料を用意していないので調べておく。</p>
田中委員	<p>他市では収入の少ない家庭に対し、一旦徴収するが後日戻ってくることもあると聞いている。市によって格差が生じているのか。</p>
吉原係長	<p>富津市では戻すという処理は行っていない。準要保護の制度や、納付相談により分納といった対応はしている。</p>
田中委員	<p>近隣袖ヶ浦市・木更津市・君津市と方法が違っているか調べ、富津市独自の方法であれば、このままでよいのか提案してほしい。</p> <p>給食費を払っていないのを明らかにするというのははじめの原因になったり、子どもの心情的によくないのではないかな。よりよい</p>

	方法に改善してほしい。
吉原係長	四市の収納方法を確認し、改善すべきところは改善するよう進めていく。
金瀬委員	納入方法だが、各学校によって違う。天神山小学校の場合、銀行口座に入れておいてもらい、金融機関から振り替えている。準要保護児童の場合は引き落としを止めている。 現金集金の場合のことを言っているのか。
田中委員	そのとおりである。
金瀬委員	学校によって違うのではないかと思う。
平野委員長	その他に何かあるか。
高橋委員	給食費の時効は2年か。
吉原係長	そのとおりである。
平野委員長	その他に何かあるか。 質問も無いようなので、議題（4）「富津市学校給食施設整備の指針について」事務局の説明を求める。
吉原係長	資料10「富津市学校給食施設整備の指針について」を説明する。 本指針は、富津市第三次基本計画を元に、学校給食充実のため、平成24年7月から平成25年12月の間、学校給食運営委員会において慎重審議を重ね、平成25年12月19日教育委員会へ提言として提出した。その結果、平成26年1月定例教育委員会議において、原案のとおり承認され策定された。 1 ページ「はじめに」は、策定に至った経緯が記載している。 2 ページ「富津市の学校給食調理場の現状と課題」について説明する。 「(1) 学校給食調理場の現状」として、建築年月、面積、調理食数が記載されているが、平成25年6月の状況となっている。平成28年現在は、富津小学校と飯野小学校が大貫共同調理場へ統合され廃止となっている。 平成28年6月現在の調理食数は、富津小と飯野小を加えた大貫共同調理場が1,599食、天羽共同調理場が530食、青堀小学校調理場が630食となっている。 「(2) 学校給食調理場の課題」として、「①給食の「質」の確保」は、単独校調理場では児童数の減少が給食食材の仕入単価に大きく影響しており、今後も児童数の減少が予想されるため、品質を下げ

るか、品数や量を減らす等の「質」の低下が懸念される。

青堀小学校は、平成 25 年に比べ調理食数は増えているのでこのような心配はないが、富津小と飯野小は対応に苦慮していたとのことである。

「②安定した給食の提供」は、施設の維持補修及び機械設備の買い替えを行って安定した給食の提供に努力しているが、施設設備の老朽化が進行し、十分な対応ができていない現状である。

「③学校給食施設衛生管理基準の遵守」は、国の定める衛生管理基準に適合した施設への改修は様々な課題のため、遅れてしまっている。

「④適正なコストバランスの維持」は、稼働率が低くなってしまっている調理場でも、運営に必要な最低限の経費は必要であるため、給食 1 食当たりの調理に係る経費が単独校調理場と共同調理場とで不均衡となっている。

このような課題解消に向け、給食運営委員会で整備方針について検討を行った。

4 ページ「富津市学校給食運営委員会での検討」について説明する。

「(1) 期別での施設整備」は、調理場の整理・統合について、第 1 期・第 2 期と 2 段階での整備計画としている。

「(2) 食育に十分配慮した給食の実施」は、富津市産の食材を可能な限り使用し、地産地消を進め、学校給食を生きた教材として活用できるような給食の提供と、調理場の見学や調理実習、研修などを通じて食育に関する諸活動に取り組むことのできる施設の整備を図り、各学校と連携して食育の推進を行うものとしている。

「(3) 食物アレルギーに配慮した給食の実施」は、現在は各調理場にはアレルギー食専用の設備・人員の配置がなく、特に共同調理場では対応に苦慮している。全ての食物アレルギーへの対応は非常に困難だが、可能な限り食物アレルギーに配慮できるような施設整備のあり方について検討するものとしている。

今年度より食物アレルギーを有する児童生徒の対応として可能な範囲で対応することを目的とした基本方針を定め、運用を始めている。

「(4) 職員の配置」は、安全で安心な給食を安定的に提供するため、適正な職員配置を行うものとしている。

28 年度においても、場長及び事務職員は配置されていない。

6 ページ「施設整備の基本計画」について説明する。

「(1) 第 1 期計画」は、①から③まで三分類となっている。

「①富津小学校調理場を大貫共同調理場へ統合」だが、平成 26 年度において、給食搬入・搬出口改修工事を施工し、平成 27 年 4 月に統合を完了した。

「②飯野小学校調理場を大貫共同調理場へ統合」だが、平成 27 年度において、給食搬入・搬出口改修工事を施工し、平成 28 年 4 月に統合を完了した。

	<p>「③大貫共同調理場の改修」だが、富津小・飯野小へ給食を配送するためのコンテナプール等を増設する工事を平成27年度に施工、完了し、配送用コンテナ及び二重食缶等の備品類を購入した。</p> <p>「(2) 第2期計画」は、第1期計画完了後の状況を精査し、本市においてより望ましい学校給食調理場のあり方を実現するため、二つの方法を基本に再度検討することとなっている。</p> <p>「①全ての調理場を統合するため、新規に共同調理場を建設」は、内容は指針の記載のとおりだが、費用について近隣市の事例を参考に算出すると、建設物資の単価高騰等により30億を超える金額になってしまうとの情報もあり、記載の11億円程度が13億円以上になってしまうことが予想される。</p> <p>「②既存2共同調理場への統合」は、指針の記載のとおりである。今後の予定について説明する。</p> <p>平成27年度で第1期計画が完了し、今年度から第2期計画の検討を開始する。今年度は計3回の会議を予定している。</p> <p>第2期計画を検討するに当たり、諸費用の算出、工事期間、調理場施設の耐用年数や設備備品の状況等のデータが必要となるので、次回会議に示せるよう準備を始めている。委員の皆さんからも必要と思われる資料があれば事務局で準備する。</p> <p>また、計画を進めるに当たり様々な課題が考えられる。そのような課題を洗い出し、解決策を見出し、本市にとってより望ましい学校給食調理場のあり方に向けて知恵をいただき、今年度中には方向性を決めていきたいと考えている。</p>
平野委員長	<p>議題(4)についての質問等があればお願いします。</p>
石井委員	<p>外部委託できる部分やコストダウンできる項目が無いようだが、計画に盛り込まれるのか。</p>
吉原係長	<p>給食調理は既に業務委託を行っている。今年度7月31日までは、大貫共同調理場・天羽共同調理場が業務委託となっており、青堀小学校調理場は市で調理を行っていたが、8月1日からは青堀小学校も業務委託となった。委託先はシダックス大新東ヒューマンサービスであり、一般競争入札により落札した業者である。</p> <p>共同調理場からの配送も業務委託を行っている。委託先は房総自動車株式会社である。</p>
牧田副委員長	<p>学校での食育に関して気に掛かる。共同調理場へ統合した場合、学校への食育の支援はどのように考えているのか。</p>
吉原係長	<p>指針には施設の見学との記載しかない。現在は、現状どおりと考えている。新たな方法があれば、運営委員会で協議していきたい。</p>

千倉委員	第2期計画の二つの案について、現段階で考えられるメリットとデメリットは何か。
吉原係長	<p>①案のメリットは、新たに調理場を建設するという案なので、現在稼働している調理場を止めることがないので、安定して給食を提供することができる。デメリットは建設場所の選択や高額な費用が掛かることと考えている。</p> <p>②案は、一時給食の提供を止めなければならないという大きな課題がある。②案を選択した場合、改修の期間どのように給食を提供するかという課題があると考えている。</p>
金瀬委員	天神山小学校は、天羽共同調理場で給食を作ってもらっている。建築年が昭和53年と古い。現状では、給食のメニューが突然変わることがある。焼き物機が壊れてボイルしたとか代用するとか、その日に突然変わることがある。古い施設設備なので調理する方も大変だと思う。
芥子委員	調理食数は約3,000食になるようだが、3調理場ということは、1調理場当たり1日1,000食という計画なのか。
吉原係長	<p>現在、大貫共同調理場が約1,600食、天羽共同調理場が530食、青堀小学校は単独調理場なので、青堀小学校分のみを作っている。</p> <p>②案の2共同調理場へ統合した場合、大貫共同調理場では富津小・飯野小・大貫小・吉野小・佐貫小・富津中・大貫中・佐貫中、天羽共同調理場では天羽地区の小中学校分の調理を行っている。青堀小学校の分を大貫共同調理場へ統合するとした場合、大貫共同調理場では対応する施設設備が整っていないので、給食を配送する受配校の構成も検討が必要になってくると考える。</p>
芥子委員	1日2,000食の施設を2拠点造れば十分だと考えるが、どのような経過で算出されているのか。
吉原係長	<p>①案は全調理場を統合し、新規に建設ということなので、当時見込める食数に対応した施設を造るという計画である。</p> <p>②案は、受配校の再編も視野に入れながら検討する必要があると考える。</p> <p>この指針を策定した当時は5調理場があった。各調理場によって建築年が様々である。中でも新しい建物を生かし、単独校については、老朽化が進んでいたり、児童生徒の人数が減ってきているところを廃止してきたという経緯がある。</p>
平野委員長	<p>他にあるか。</p> <p>議題(5)その他について事務局の説明を求める。</p>

鶴岡教育総務課長	事務局からは特に無い。
平野委員長	委員の皆さんからこの場で協議したい事項はあるか。
田中委員	市民団体がボランティアで食材の調査を行うということであったが、進展はいかがか。
吉原係長	昨年、地方創生会議における市民委員から食品添加物の公表について発言があった。今年度2回協議を行い、市民委員が必要とするデータを提供している。その後、市民委員の事情により協議は中断しており、何も進んでいない状況である。
平野委員長	他に何かあるか。 特にないようなので、本日の議事は全て終了した。
吉原係長	事務局より今後の会議予定について説明する。
鶴岡教育総務課長	本年度は計3回の委員会の開催を予定しており、第2回目を11月中旬から12月上旬に予定したい。
吉原係長	平成28年度第1回富津市学校給食運営委員会を閉会する。